

○本調査は、統計法(平成19年法律第53号)に基づく一般統計調査です。
○本調査は、全ての企業を調査の対象としています。イノベーションを実現していない企業も対象に含まれます。
○本調査は、統計を作成するために使われるもので、報告者に利害関係を生じるような目的に使用されることはありません。ありのままの姿を記入してください。
○調査票における「年」は「暦年」を意味します。たとえば、「2017年」は、暦年の「2017年1月1日から12月31日まで」として、回答を記入してください。それが困難な場合は直近の「決算期(会計年度)」の1年間として、回答を記入してください。
○調査票は、2018年12月21日(金)までに提出してください。
○インターネットによる回答も可能です。ウェブ回答システムのログイン案内ページ(http://www.nistep.go.jp/jnis2018)にアクセスし、ID・パスワードをご入力の上ログインしてください。

本調査票の回答に関するご担当者について記入してください。
調査結果や調査に関連する情報の送付、ご回答の内容に関して問い合わせをする場合がございます。

法人番号(13桁の法人番号を記入してください。)

法人番号入力欄

氏名、部署名、役職、電話番号、Eメールアドレス入力欄

1 企業グループ\*1の有無(2017年末時点)

1-1 2017年末の時点で、貴社は企業グループに属していましたか。

1-1 回答欄: 日本に本社が所在する企業グループに属していた、外国に本社が所在する企業グループに属していた、いずれの企業グループにも属していない(親会社及び子会社を持たない)

\*1) 本調査において貴社の「企業グループ」とは、貴社、並びに貴社の親会社及び貴社の子会社からなるグループをいいます。ここで、「親会社」とは「貴社の議決権の過半数を有する他の会社」又は「貴社の経営を支配している他の会社」をいいます。また、「子会社」とは「貴社が議決権の過半数を有している他の会社」又は「貴社が経営を支配している他の会社」をいいます。

1-2 企業グループの本社が所在する国(2017年末時点)

1-2 国名入力欄

これより先の全ての設問では、貴社のみ(貴社以外の全てのグループ内の他社を除いて)対象としてください。

2 従業者等\*2

2-1 従業者数(年間の平均又は各暦年末時点の数)

2-1 従業者数入力欄: 2015年、2017年

2-2 2-1の従業者数のうち、「高等教育を受けた者」\*3の割合

2-2 2017年約 % 入力欄

2-3 2-2の「高等教育を受けた者」のうち、「大学院修了者」(博士課程又は修士課程修了者)の割合

2-3 2017年約 % 入力欄

2-4 2-2の「高等教育を受けた者」のうち、「博士号保持者」(博士課程修了者又はいわゆる論文博士)の割合

2-4 2017年約 % 入力欄

\*2) 「従業者」とは、当該企業に所属して働いている全ての者をいいます。従業者には、他の会社や下請先などの別経営の企業へ派遣している人も含まれます。ただし、当該企業で働いている人であっても、他の会社や下請先などの別経営の企業から派遣されている人など、当該企業から賃金・給与(現物支給含む)を支給されない人は従業者に含まれません。
\*3) 「高等教育を受けた者」とは、次の学位若しくは称号又は外国で取得した同等の学位のいずれかを有する者とします: 「博士」(大学院博士課程修了者)、「修士」(大学院修士課程修了者)、「専門職学位」(「法務博士(専門職)」, 「教職修士(専門職)」, 及び「修士(専門職)」(法科大学院、教職大学院、及び専門職大学院の課程修了者)、「学士」(大学学部卒業生)、「短期大学士」(短期大学卒業生)、「准学士」(高等専門学校卒業生)並びに「高度専門士」及び「専門士」(修業年限が2年以上で所定の要件を満たす専修学校専門課程の修了者)。

3 製品・サービスの売上高(消費税を除く)\*4

3 売上高入力欄: 2015年、2017年

\*4) 貴社が金融機関の場合は、「経常収益」を記入してください。貴社が保険会社の場合は、「保険料等収入」又は「正味収入保険料」を記入してください。

4 創業年(初めて事業を開始した年)\*5

4 創業年入力欄

\*5) 本調査でいう「創業年」とは、貴社が初めて事業を開始した年をいいます。「創業年」の記入が困難な場合は、「設立年」を記入してください。なお、ここでの「設立年」とは、貴社の2017年末時点における法人格が商業・法人登記によって取得された年のことをいいます。一般に、「創業年」と「設立年」は異なる場合があります。

これより先の全ての設問では、2015年から2017年までの3年間の活動について記入してください。

5 市場環境

5-1 貴社が製品又はサービスを販売又は提供した国・地域(2015年から2017年までの3年間)

5-1 国・地域選択欄: [a] 日本, [b] 中国(台湾を除く), [c] ASEAN, 韓国, 台湾, [d] 北米, [e] EU及びEFTA, [f] その他

5-2 貴社の製品又はサービスに関連する競合他社の数(2015年から2017年までの3年間)

5-2 競合他社数選択欄: 0社, 1-4社, 5-9社, 10-14社, 15-49社, 50社以上

5-3 貴社の製品又はサービスに関する競争環境に影響を与えた要因(2015年から2017年までの3年間)

5-3 競争環境要因選択欄: (a) 製品・サービスがすぐに陳腐化した, (b) 主要市場における技術発展の予測が難しかった, (c) 競合他社の製品・サービスにより代替された, (d) 新規競合他社の参入により自社の市場地位が脅かされた, (e) 競合他社の行動の予測が難しかった, (f) 需要の予測が難しかった, (g) 国際競争が激しかった

6 戦略と知識流動

6-1 貴社が確実な利益獲得のために採用した戦略(2015年から2017年までの3年間)

6-1 戦略採用状況表: (a) 既存の製品・サービスの改良, (b) 新しい製品・サービスの導入, (c) 製品・サービスの低価格, (d) 製品・サービスの高品質, (e) 広範に揃えられた製品群・サービス群, (f) 少数の主要製品・サービス, (g) 既存顧客の満足度, (h) 新規顧客の開拓, (i) 標準化された製品・サービス, (j) 顧客個別のソリューション(製品・サービス)

6-2 貴社が行った知的財産権に関する活動(2015年から2017年までの3年間)

6-2 知的財産権活動表: (a) 特許を出願した, (b) 意匠登録した, (c) 商標登録した, (d) 著作権を行使した, (e) 著作権侵害の停止又は予防を請求した, (f) 営業秘密を使用した, (g) 自社の知的財産権(特許権, 意匠権, 著作権, 商標権, 営業秘密等)を他者に実施許諾(ライセンスアウト)した, (h) 自社の知的財産権を他者に売却(又は譲渡)した, (i) 自社の知的財産権を他者と交換(クロスライセンス, パテントプール形成等)した, (j) 民間企業又は個人から知的財産権を購入した又は実施許諾を受けた(ライセンスイン), (k) 大学・他の高等教育機関から知的財産権を購入した又は実施許諾を受けた(ライセンスイン), (l) 公的研究機関から知的財産権を購入した又は実施許諾を受けた(ライセンスイン)

6-3 貴社が知識を獲得するために利用した情報伝達経路(2015年から2017年までの3年間)

6-3 情報伝達経路表: (a) 大規模会議(コンファレンス), 見本市, 展示会, (b) 科学誌・技術誌, 業界出版物(経済誌, 業界紙を含む), (c) 専門職団体, 業界団体, (d) 公開特許, (e) 標準規格に関する文書, (f) ソーシャル・ネットワーク, ウェブページ・プラットフォーム, クラウド・ソーシング, (g) オープン・プラットフォーム, オープン・ソース・ソフトウェア, (h) リバース・エンジニアリング

7 ビジネス・マネジメント及び組織マネジメント

7-1 貴社が実行したビジネス・マネジメント及び組織マネジメント(2015年から2017年までの3年間)

7-1 ビジネス・マネジメント表: (a) 機能が異なる部門間における従業員の計画的なジョブ・ローテーション, (b) 従業員が事業内で行い得る改善について検討する定例的なブレインストーミング会(TQMサークル活動等), (c) (異なる機能や業務領域を組み合わせた)機能横断的作業グループ又はチーム(マトリクス組織等), (d) 研究開発部門出身者の取締役への就任, (e) 研究者・技術者の評価への研究開発成果の反映, (f) 職務発明に対する報奨制度, (g) 定年退職となった研究者・技術者の再雇用

**8 新しい又は改善した製品又はサービス**

**8-1 貴社が市場に導入した新しい又は改善した製品又はサービスの有無**<sup>6)</sup> (2015年から2017年までの3年間)  
(a)及び(b)について、「有り」/「無し」から1つずつ選んで○に✓を付けてください。

	有り	無し
(a) 市場に導入した新しい又は改善した製品 (デジタル製品を含む)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(b) 市場に導入した新しい又は改善したサービス (デジタル・サービスを含む)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

<sup>6)</sup>本調査における「新しい又は改善した製品 (サービス)」とは、新しい又は改善した製品 (サービス) であって、貴社の以前の製品 (サービス) とは**かなり異なり**、かつ市場に導入されているものをいいます。また、これは**貴社にとって新しい製品 (サービス)** を指し、他社が既に市場に導入している製品 (サービス) と同様のものを貴社が導入した場合も、それが貴社の以前の製品 (サービス) と**かなり異なれば**、「新しい又は改善した製品 (サービス)」に該当します。

8-1の(a)か(b)のいずれかでも「有り」が該当する場合、8-2を回答してください。

**8-2 最も重要な新しい又は改善した製品又はサービス** (2015年から2017年までの3年間)  
8-1の(a)又は(b)で「有り」と回答された製品又はサービスについて、貴社において最も重要なものは何ですか。1つを選び、簡単に説明ください。


8-1の(a)か(b)のいずれかでも「有り」が該当する場合、8-3及び8-4を回答してください。

**8-3 新しい又は改善した製品又はサービスの新規性と売上高** (2017年における1年間)  
8-1の(a)又は(b)で「有り」と回答された製品又はサービス全てについて、次の(x)及び(y)に該当するものを全て選んで□に✓を付けた上で、2017年の総売上高に占める割合をそれぞれ記入してください。

	該当あり (2015年から2017年までの3年間)	売上(収入)金額の割合 (2017年における1年間)
(x) 以前に <b>いかなる競合他社も提供したことがない</b> 自社が市場に導入した新しい又は改善した製品・サービス	<input type="checkbox"/>	<input type="text"/> %
(y) <b>既に競合他社が提供している製品・サービスと同一又はよく類似した</b> 自社が市場に導入した新しい又は改善した製品・サービス	<input type="checkbox"/>	<input type="text"/> %
(z) 上記(x)と(y)以外の貴社による <b>その他の製品・サービス全て</b> (変更がなかったもの、僅かに変更されたもの、他社から購入して転売したもの)	(z)=100-[(x)+(y)]	<input type="text"/> %
2017年の総売上高	1 0 0	%

**8-4 新しい又は改善した製品又はサービスを開発した組織**  
(2015年から2017年までの3年間)  
8-1の(a)又は(b)で「有り」と回答された製品又はサービスを開発した組織について、[a]から[d]の該当するものを全て選んで□に✓を付けてください。

[a] <b>自社のみ</b> で開発した	<input type="checkbox"/>
[b] 自社が <b>他社や他の機関</b> <sup>7)</sup> と <b>共同</b> で開発した	<input type="checkbox"/>
[c] 他社や他の機関が元は開発したものを <b>自社で転用・修正</b> した	<input type="checkbox"/>
[d] <b>他社や他の機関が開発</b> した	<input type="checkbox"/>

<sup>7)</sup>「他社や他の機関」には、他の独立した企業だけでなく、貴社企業グループ内の他社(子会社、企業グループを統括する企業等)、大学、公的研究機関、非営利団体などを含みます。

**9 新しい又は改善したビジネス・プロセス**

**9-1 貴社が自社内に導入した新しい又は改善したビジネス・プロセスの有無**<sup>8)</sup> (2015年から2017年までの3年間)  
(a)から(g)のビジネス・プロセスについて、「有り」/「無し」から1つずつ選んで○に✓を付けてください。

	有り	無し
(a) 自社内に導入した新しい又は改善した製品の <b>生産方法又はサービスの提供方法</b> (製品・サービスの開発方法を含む)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(b) 自社内に導入した新しい又は改善した製品・サービスの <b>ロジスティクス、配送方法、又は流通方法</b>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(c) 自社内に導入した新しい又は改善した <b>情報処理又は情報伝達に関する方法</b>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(d) 自社内に導入した新しい又は改善した <b>会計又は他の管理業務に関する方法</b>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(e) 自社内に導入した新しい又は改善した <b>業務手順又は社外との関係を組織化するための業務慣行</b>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(f) 自社内に導入した新しい又は改善した <b>職務責任、意思決定又は人材マネジメントを組織化するための方法</b>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(g) 自社内に導入した新しい又は改善した <b>販売促進、価格設定、プロダクト・プレースメント又は販売後サービス(アフターサービス)に関するマーケティング方法</b>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

<sup>8)</sup>本調査における「新しい又は改善したビジネス・プロセス」とは、1つ以上のビジネス機能についての新しいビジネス・プロセスであって、貴社の以前のビジネス・プロセスとは**かなり異なり**、貴社内において利用に付されているものをいいます。また、これは**貴社にとって新しいビジネス・プロセス**を指し、他社が既に導入しているビジネス・プロセスと同様のものを貴社が導入した場合も、それが貴社の以前のビジネス・プロセスと**かなり異なれば**、「新しい又は改善したビジネス・プロセス」に該当します。

9-1の(a)から(g)までのいずれかでも「有り」が該当する場合、9-2を回答してください。

**9-2 新しい又は改善したビジネス・プロセスを開発した組織**  
(2015年から2017年までの3年間)  
9-1の(a)から(g)で「有り」と回答されたビジネス・プロセスを開発した組織について、[a]から[d]の該当するものを全て選んで□に✓を付けてください。

[a] <b>自社のみ</b> で開発した	<input type="checkbox"/>
[b] 自社が <b>他社や他の機関</b> <sup>9)</sup> と <b>共同</b> で開発した	<input type="checkbox"/>
[c] 他社や他の機関が元は開発したものを <b>自社で転用・修正</b> した	<input type="checkbox"/>
[d] <b>他社や他の機関が開発</b> した	<input type="checkbox"/>

<sup>9)</sup>「他社や他の機関」には、他の独立した企業だけでなく、貴社企業グループ内の他社(子会社、企業グループを統括する企業等)、大学、公的研究機関、非営利団体などを含みます。

**10 「新しい又は改善した製品又はサービス」の導入(8-1)又は「新しい又は改善したビジネス・プロセス」の導入(9-1)の実現に向けて実行した活動(イノベーション活動)**

**10-1 貴社が「新しい又は改善した製品又はサービス」の導入(8-1)又は「新しい又は改善したビジネス・プロセス」の導入(9-1)の実現に向けて実行した活動(以下、「イノベーション活動」といいます。)** (2015年から2017年までの3年間)  
(a)から(d)について、「はい」/「いいえ」から1つずつ選んで○に✓を付けてください。また、(d)の回答が「はい」である場合は、(d-1)及び(d-2)にも回答してください。

	はい	いいえ
(a) <b>完了済の活動</b> <sup>10)</sup> があった	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(b) 2017年末の時点で <b>継続中の活動</b> があった	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(c) <b>中止した活動</b> があった	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(d) <b>研究開発活動</b> を実行した (自社内実行、社外研究開発支出のいずれも含む)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

  

	はい	2017年の支出額	いいえ
		千億 百億 十億 億 千万 百万	
(d-1) <b>自社内</b> において <b>研究開発</b> を実行した	<input type="radio"/>	<input type="text"/> 百万円	<input type="radio"/>
(d-2) <b>社外</b> (自社企業グループ内の他社もこの「社外」を含む)に <b>委託した研究開発</b> があった	<input type="radio"/>	<input type="text"/> 百万円	<input type="radio"/>

<sup>10)</sup>完了済の活動には、「新しい又は改善した製品又はサービス」の導入(8-1)又は「新しい又は改善したビジネス・プロセス」の導入(9-1)の実現を含みます。したがって、8-1又は9-1の設問のいずれかにおいて「有り」が該当した場合は、完了済の活動があったとみなされます。

10-1の(a)から(d)までのいずれかでも「はい」が該当する場合は、10-2から10-5までを回答してください。すべて「いいえ」が該当する場合は、11-1に進んでください。

**10-2 貴社が実行したイノベーション活動の内容** (2015年から2017年までの3年間)  
(a)から(f)について、「はい」/「いいえ」から1つずつ選んで○に✓を付けてください。

	はい	いいえ
「新しい又は改善した製品又はサービス」の導入又は「新しい又は改善したビジネス・プロセス」の導入の実現のために...		
(a) <b>エンジニアリング、デザイン、又は他の創造的業務活動</b> (製品・サービスの形状・外見・使い勝手の変更など)を実行した	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(b) <b>マーケティング又はブランド・エクイティ活動</b> (製品・サービスの導入のための市場調査、宣伝・広告など)を実行した	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(c) <b>知的財産関連活動</b> を実行した	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(d) <b>従業員への教育訓練活動</b> を実行した	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(e) <b>ソフトウェア開発又はデータベース活動</b> を実行した	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(f) <b>建物、機器、機械又はその他の有形資産</b> を取得した又はリースした	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

**10-3 貴社がイノベーション活動のために受給した公的財政支援の有無** (2015年から2017年までの3年間)  
(a)から(c)について、「はい」/「いいえ」から1つずつ選んで○に✓を付けてください。

	はい	いいえ
(a) <b>地方公共団体</b> <sup>11)</sup> による <b>財政支援</b> <sup>12)</sup> を受給した	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(b) <b>国(政府、行政機関、独立行政法人等)</b> <sup>13)</sup> による <b>財政支援</b> を受給した	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(c) <b>国又は地方公共団体による税額控除</b> を利用した	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

<sup>11)</sup>ここでの「地方公共団体」には都道府県、市区町村のほか、これらの地方公共団体が設立して公的資金に基づいて運営されている機関も含みます。

<sup>12)</sup>ここでの「財政支援」は、助成金、補助金、補助金付融資(貸付)、及び融資保証(損失補償契約)が含まれます。他方、公的部門の機関との契約に基づく活動に対する支払いは除かれます。

<sup>13)</sup>ここでの「国(政府、行政機関、独立行政法人等)」には、府省庁、科学技術振興機構(IST)、新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)、情報通信研究機構(NICT)等の独立行政法人のほか、株式会社日本政策投資銀行、株式会社日本政策金融公庫といった機関も含みます。

**10-4 貴社がイノベーション活動のために他社や他の組織と行った協力の有無** (2015年から2017年までの3年間)  
(a)及び(b)について、「はい」/「いいえ」から1つずつ選んで○に✓を付けてください。

	はい	いいえ
(a) <b>研究開発活動</b> (10-1(d))を協力して実行した	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(b) 研究開発活動を除く <b>他のイノベーションのための活動</b> (10-2(a)-(f))を協力して実行した	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

10-4の(a)か(b)のいずれかでも「はい」が該当する場合は、10-5を回答してください。

**10-5 協力相手の種類と所在国・地域** (2015年から2017年までの3年間)  
10-4の(a)又は(b)で「はい」が該当した活動に関して、具体的な協力相手の種類とその協力相手が所在する国・地域について、該当するものを全て選んで□に✓を付けてください。

	日本	中国 (台湾を除く)	ASEAN、 韓国、台湾	北米	EU及び EFTA	その他
[a] <b>自社企業グループ内の他社</b>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<b>自社企業グループ外の他社</b>						
[b] <b>コンサルタント、営利試験所、民間研究機関</b>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
[c] <b>設備・原材料・部品・ソフトウェアのサプライヤー</b>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
[d] <b>民間企業であるクライアント・顧客</b>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
[e] <b>競合他社</b>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
[f] <b>上記以外の民間企業</b>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
[g] <b>大学・他の高等教育機関</b>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<b>政府・公的研究機関</b> (国立研究開発法人、 公設試験研究機関等；クライアント・顧客である場合を除く)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
[i] <b>公共部門のクライアント、顧客</b>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
[j] <b>民間非営利団体</b>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

**11 イノベーション活動の阻害要因**

**11-1 貴社においてイノベーション活動を開始しようとする意思決定を阻害した要因、又は実際にイノベーション活動の実行を阻害した要因** (2015年から2017年までの3年間)  
(a)から(j)について、該当するものを1つずつ選んで○に✓を付けてください。

	阻害された			阻害され なかった
	影響度・高	影響度・中	影響度・小	
(a) <b>自己資金の不足</b>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(b) <b>金融機関や投資家による融資・投資の不足</b>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(c) <b>助成金・補助金の獲得の困難</b>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(d) <b>イノベーション活動に係る高すぎるコスト</b>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(e) <b>自社内における能力のある従業員の不足</b>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(f) <b>他社や他の機関等の協力相手の不足</b>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(g) <b>社外にある知識を利用する権利・機会の不足</b>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(h) <b>自社のアイデアに対する需要の不確実性</b>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(i) <b>市場における過度に激烈な競争</b>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(j) <b>自社内における異なる優先事項</b> (イノベーション活動よりも他に優先すべきことがあった)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

法律・規制の種類

	影響があった		影響が なかった
	イノベーション活動を 促進した	新しいイノベーションを妨げた/ イノベーション活動のコストを増加させた	
[a] <b>製品安全、消費者保護</b>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
[b] <b>環境</b>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
[c] <b>知的財産</b>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
[d] <b>税制</b>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
[e] <b>雇用、労働者の安全、社会保険</b>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

**12 法律又は規制がイノベーション活動に与えた影響**

**12-1 法律又は規制が貴社のイノベーション活動に与えた影響** (2015年から2017年までの3年間)  
[a]から[e]について、該当するものを全て選んで□に✓を付けてください。ただし、該当するものがない場合は、「影響がなかった」にのみ✓を付けてください。